

患者向け説明書：带状疱疹ワクチン（成人向け） この説明書は、成人が带状疱疹ワクチンを接種する際に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

带状疱疹とは

- **原因:** 水痘・带状疱疹ウイルス（VZV）。子どもの頃にかかった水痘ウイルスが体内に潜伏し、免疫力が低下したときに再活性化して発症します。
- **症状:** 皮膚に痛みを伴う赤い発疹や水ぶくれ。体の片側に帯状に現れることが多い。
- **合併症:** 発疹が治った後も強い痛みが長期間続く「带状疱疹後神経痛（PHN）」が代表的。高齢者では生活の質を大きく損なうことがあります。

ワクチンの種類

- **組換えサブユニットワクチン（シングリックス®など）:** 免疫効果が長期間持続し、50 歳以上の成人に推奨されます。
- **水痘ワクチン:** 生ワクチンで小児の定期接種で使うものと同じです。50 歳以上の成人に使用します。

接種スケジュール

- **不活化ワクチン（シングリックス®）:** 2 回接種（初回と 2 か月後）。
- **水痘ワクチン:** 1 回の接種となります。

副反応について

- **よくある副反応:** 注射部位の痛み、腫れ、赤み。
- **全身反応:** 発熱、倦怠感、頭痛、筋肉痛。
- **まれな副反応:** 強いアレルギー反応（アナフィラキシー）。

接種が推奨される方

- 50 歳以上の成人。
- 免疫力が低下している方（糖尿病、慢性疾患など）。
- 過去に带状疱疹にかかったことがある方でも再発予防に有効。

接種前の注意

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 妊娠中は接種できません。
- 他のワクチンとの接種間隔については医師に確認してください。

接種後の注意

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 注射部位の痛みや発熱は数日で改善することが多いです。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

まとめ

带状疱疹は高齢者に多く、強い痛みや後遺症を残す可能性がある感染症です。ワクチン接種により発症や重症化を予防できます。特に 50 歳以上の方には接種が強く推奨されます。この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後 20 分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。